

第 5 回 GMナタネ採取隊結果

日時: 2009/6/7

参加者総数: **84** 名

調査場所: 林崎町～小舟江町北

採取隊員: **73** 名

(遺伝子組み換え食品を考える中部の会)

グループ	場所名称	隊員数	陽性の数		採取した株数	検体数	備 考
			RR	LL			
A	林崎町～北玉垣町	10	4	1	88	15	
B	北玉垣町～江島台	6	7	8	42	19	B西班で両耐性ナタネ1株
C	江島台～寺家8	7	4	9	156	20	
D	寺家8～千里駅	6	9	4	91	20	
E	千里駅～朝陽中学校前	6	5	6	43	19	
F	朝陽中学校前～栗真中山町	6	4	3	53	17	
G	栗真中山町～橋北中	8	4	4	61	14	
H	橋北中～上弁財	6	4	3	139	15	
I	上弁財～藤方	6	5	4	43	14	
J	藤方～雲出本郷町	6	10	6	60	17	
K	雲出本郷町～小舟江町北	6	11	13	353	38	K西班で両耐性ナタネ1株

合計	73	67	61	1129	208
うち両耐性ナタネ		2			
RRの確率(%)		32.2			
LLの確率(%)			29.3		
GMの確率(%)			60.6		

RR: 除草剤ラウンドアップ(薬剤名グリ
フォサート)に耐性のGMナタネ
LL: 除草剤バスタ(リバティリンク:グリホ
シネート)耐性のGMナタネ

- 今回の参加者は、
- ・路上での採取 73名
 - ・送迎車運転手 9名
 - ・採取ナタネ回収
トラック運転手 1名
 - ・本部駐在 1名

計 84名 でした。
多くの方々の参加、ご協力に深く感謝します。

遺伝子組み換え食品を考える中部の会
連絡先: 食と環境の未来ネット
TEL: 052-937-4817
E-Mail: nonchan-milk@athena.ocn.ne.jp

解 説: 検査方法など

■採取したナタネすべてのGM検査は行えないため、その中から採取地点別に1検体を選び検査します。

■検査はそれぞれラウンドアップ耐性とバスタ耐性遺伝子組み換えナタネ検出用の試験紙を使用して行います。検出の限界は0.1%と高いため、容易に判定することができます。なおこれはあくまでも簡易検査なので、正式な判定が必要な場合には、公の検定機関に検査を依頼する必要があります。

■表からわかるとおり、今回ラウンドアップ耐性GMナタネの確率は全体の32.2%。バスタ耐性GMの確率は全体の29.3%でした。さらにGMナタネの確率は全体の60.6%でした。内、2検体がRR/LLの両耐性であることが判明しています。

採取隊以外のスタッフ	
送迎車運転手	鈴木(正)
	岩切
	子安
	浦北
	小川
	太田
	石川(大)
	黒田
	戸高
回収用トラック運転手	1名
本部駐在	齊藤
計	11名

第 7 回 GMナタネ採取結果

日時: 2010/6/13

参加者: 82名(うち送迎ドライバー: 7名、本部: 1名)

調査場所: 南玉垣町南 ~ 小舟江

(遺伝子組み換え食品を考える中部の会)

No.	参加	場所名称	植物名	検体数	GMチェック		採取した株数	備考
					RR	LL		
A	4	南玉垣町南 ~ 江島台二		1	0	1	11	
B	4	江島台二 ~ 白子駅入口		5	1	0	37	中日新聞記者同行
C	3	白子駅入口 ~ 寺家六		3	1	0	25	
D	4	寺家六 ~ 磯山二		12	4	6	101	
E	4	磯山二 ~ 千里団地入口		3	0	2	33	
F	4	千里団地入口 ~ 上野南		2	0	2	21	
G	4	上野南 ~ 朝陽中学校前		3	0	0	28	
H	4	朝陽中学校前 ~ 栗真小川町北		2	0	2	23	毎日新聞記者同行
I	3	栗真小川町北 ~ 栗真中山町		2	1	1	14	
J	4	栗真中山町 ~ 江戸橋北詰		4	1	1	37	
K	4	江戸橋北詰 ~ 栄町二南		2	0	0	13	
L	4	栄町二南 ~ 丸之内		2	1	0	16	
M	4	丸之内 ~ 大倉		4	2	1	39	
N	4	大倉 ~ 垂水南		2	1	0	17	
O	4	垂水南 ~ 相川橋(津競艇場南)		3	2	0	22	
P	4	相川橋 ~ 幸楽苑		1	0	0	16	
Q	4	幸楽苑 ~ 餃子庄将津南店南	雑種?含む	6	1	2	66	
R	4	餃子庄将津南店南 ~ 雲出大橋の南詰め	雑種?含む	10	4	5	73	共同通信記者同行
S	4	雲出大橋の南詰め ~ 小舟江		5	3	1	47	
計	74	名	陽性の数	72	22	24	計 639	
			陽性の確率		31%	33%		
			いずれか陽性		64%			

当日は、雨の為、通常道路の両側を実施する所、片側のみの採取となったので、採取したナタネの本数が例年の半分近くになった。

なお、Q班では作物との、R班では雑草との交雑を思わせるGM陽性小問いを確認しています。

またR班の交雑雑草と思われる1検体(R-02)についてはPCR法によるDNA鑑定を農民連食品分析センターに依頼。EPSPSグリホサート系耐性(RR)GMナタネであることを確認しました。

GM陽性率は64%。